

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報					
事務事業コード	0109010101040502	事務事業名	婦人防火協会運営事業	担当部	消防局
				担当課	本部予防課
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ	予防係
施策名	04	防災対策の推進		電話番号	64-0433
基本事業名	05	防災知識の普及啓発		内線番号	4506
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 34 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )
	款	09 消防費			
	項	01 消防費			
	目	01 常備消防費			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市婦人防火協会への運営補助を行っている。同協会は、霧島市消防出初式に参加したり、鹿児島県消防学校で開催される研修に参加し、防火意識の向上に努めており、全国火災予防運動期間中には、市内全域において火災予防広報及び住宅用火災警報器の設置、維持についての広報活動を実施している。更に鹿児島県婦人防火クラブ連絡協議会運営委員会に出席し県内の防火に関する女性クラブ等の連絡調整も行っている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 火災予防広報及び住宅用火災警報器普及活動	回	18	20	20	20	20
イ 消防学校研修への参加人員	人	6	4	4	7	7
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象しているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 婦人防火協会	婦人防火協会会員数	人	1,294	1,284	1,276	1,300	1,300
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 住宅用火災警報器の普及活動	住宅用火災警報器の設置率	%	82	84	82	90	92
イ 防火意識が身につく	行事等に対する会員の出席率	件	73	74	84	80	82
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 防災に対する正しい理解を深め、対応力を高める。	防災に対する意識向上がなされた市民の割合	%	73	72	72	78	80
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

発足は昭和34年で、経緯については、当時も住宅火災が数多く発生し、この住宅火災を予防する目的で主に家庭の主婦を対象として防災組織を構築し、住宅火災を防止するために開始された。住民のライフスタイルの多様化や、厳しい社会情勢、消防団の減少等、男女共同参画等により女性の社会への貢献度は年々高まってきており、特に防火、防災に関しては、家庭の主婦等の組織力が必要になってきている。この事務事業に対しての直接的な要望等はないが、消防局に消火器の不適切販売・点検、住宅用火災警報器の不適切な販売の苦情が寄せられているが、この事務事業を更に強化し、このような苦情・要望にも対処できればと考える。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	44	43	43	44
		事業費	千円	44	43	43	44
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>平成26年度における霧島市婦人防火協会の会員数は1,276名である。</p> <p>11月の消防学校の研修には会員の中から代表で4名、春の火災予防週間中における霧島市内の火災予防広報には4名が実施し活動報告により情報を共有し防火意識の向上を図る。また、例年11月に開催される防災フェスタでは16名が参加し、その他、イベント等において住宅用火災警報器の設置維持状況についてのアンケートの実施や火災予防についての広報等を実施した。</p>	<p>毎年11月に行われている鹿児島県消防学校で実施されている研修会に会員の代表者が出席している。その翌年5月の総会時に研修内容等、活動報告を実施することで各地域にいる会員の防火意識の向上した。その結果、各地域の防火意識の向上につながった。</p> <p>また、春の火災予防週間等における火災予防広報、住宅用火災警報器の設置及び維持の広報を行ったが昨年度より設置率が2%減少し82%となった。これには、設置率調査件数が上昇したことによって未設置の世帯が増加したことが要因と考えられる。</p>

事務事業コード	0109010101040502	事務事業名	婦人防火協力会運営事業	担当部	消防局
				担当課	本部予防課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	防火防災の正しい知識を知ってもらうことにより、防災に対する正しい理解を深め対応力が高まる事に、結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市が行う防災事業にも積極的に協力をもらっており、団体が行う活動が防火防災につながり補助金を交付することは適当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	各種催しへの参加により住宅用火災警報器の設置対策を促すことで、成果向上が期待できる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	全市民の隅々まで火災予防等を訴えるには、それぞれの地域に密着した会員のきめ細かい行動が必要であり、休止した場合は、市民の防災意識が薄れていくことが予想される
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 霧島市女性防火クラブ  この団体は、国分地域自治体単位の組織である。婦人防火協力会の組織は霧島市全体を統括し各地域で構成されている団体であり、構成単位が異なり、統合は難しい。しかしながら、今後の活動においてお互い理解してもらうよう計画していく意向である。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	防火書道展や防火ポスター展の会長賞、役員会の資料作成に係る事務用品、文書発送における通信費等に当てており、削減の余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市が行う事業としては補助金の交付に係る事務のみであり、削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この活動に対する受益者は市民であり、婦人防火協力会に対して受益者負担を求めるべきではない。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	年間行事で行われる研修、イベント等の参加率は前年度より少しではあるが向上したものの、本市における広域性を考えると今まで研修等に参加できなかった者の積極的な参加呼び掛け出席率を更に上げる必要がある。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	この事業は地域密着型の事業であり、各地区に広報等を実施することにより防火意識の向上を目指すことを目的とするため、研修等における参加率を更に上昇させることと、地域における防火意識啓発を実施してもらうように努めたい。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)	
(1)事務事業の改革改善方向性	継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止
(2)総評	



平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0109010101040501	事務事業名	幼少年消防クラブ連絡協議会運営事業	担当部	消防局		
				担当課	本部予防課		
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ	消防設備係		
施策名	04	防災対策の推進		電話番号	64-0433		
基本事業名	05	防災知識の普及啓発		内線番号	4506		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )			
	款	09 消防費		根拠法令・条例等	特になし		
	項	01 消防費					
	目	01 常備消防費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

幼少年消防クラブは、霧島市における幼児、児童の防火意識を高めるとともに、保育士及び教諭の資質向上のための研修、会員相互の連絡、協調、親睦を目的とする。

幼少年消防クラブは33団体、クラブ員及びその指導者2,887名で、内訳は、幼少年消防クラブ、29団体、クラブ員及びその指導者2,765名、少年消防クラブ4団体、クラブ員及びその指導者122名で構成されています。

毎年、11月に消防局を1日開放し市民に対して防災意識の高揚を図るためのイベント「防災フェスタINきりしま」を実施しており、各クラブに対し参加依頼して、幼稚園児や保育園児に1日署長を務めてもらったり、演技や遊戯等を披露している。

保育士及び教諭に対して防災に関する研修会の案内を行い、参加してもらっている。

市内の小中学校生を対象にした防火ポスター展(3月)、防火書道展(11月)に協力している。

地域の福祉施設等を慰問しての防火の呼びかけや消防団員と協力して校区内の夜回りを行っている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 研修会の回数	回	3	1	2	3	3
イ 研修会の参加人員	人	325	244	213	200	200
ウ 防火ポスター展、防火書道展の実施回数	回	2	2	2	2	2

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 幼少年消防クラブ	クラブ数	団体	33	33	33	33	33
イ 幼少年消防クラブ員及びその指導者	クラブ員数及びその指導者数	人	2,900	2,827	2,887	2,900	2,900
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 防火意識が身に付く	防火の呼びかけ、校区内の防火夜回り実施クラブ数	団体	5	4	6	6	6
イ 防火意識が身に付く	防火ポスター展・防火書道展の出品数	品	511	387	402	450	450
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 防災に対する正しい理解を深め、対応力を高める	防災に対する意識向上がなされた市民の割合	%	73	72	72	76	77
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

開始時期については、昭和40年代と推測される。

火災の発生原因の中で、マッチ、ライターによる子どもの火遊びによるものが多かったことが契機とされ、子どもの火遊び等による火災件数が少なくなり、現在も維持されている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	167	164	164	167	167
	事業費	千円	167	164	164	167	167

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
防火ポスター展を実施し、市内の小中学校31校から320作品の出品があった。 防火書道展を実施し、市内の小中学校10校から81作品の出品があった。 指導者の研修として救急医療県民講座への参加案内をしたところ8名の参加があった。 毎年消防局で行われる「防災フェスタINきりしま」に市内の幼稚園・保育園から205名が参加し、演技・遊戯等を披露した。 地域の福祉施設等の慰問により防火の呼びかけや消防団員と協力して校区内の夜回りを実施した。	防火ポスター展及び防火書道展の出品により防火意識が身についた。 指導者の救急医療県民講座に参加することにより、資質向上を図ることができた。 防災フェスタへ参加したことにより、煙体体験や災害現場の写真等を見ることにより防火意識が身についた。 地域の福祉施設等の慰問、夜回りにより防火意識が身につく、住民への防火啓発ができた。

事務事業コード	0109010101040504	事務事業名	幼少年消防クラブ連絡協議会運営事業	担当部	消防局
				担当課	本部予防課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	幼少年消防クラブ員及びその指導者の防火意識を身につけさせることにより、防火・防災に対する正しい理解を深め、対応力を高める。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	幼少期から防火意識を身につけることにより、防火意識の高い住民が増え、安心安全な霧島市を築くことになるので妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	防火・防災に関する研修等に一人でも多く参加してもらう事により成果の向上する余地はある。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	幼少年期からの防火意識の低下により、火災発生の可能性が高まることとなり、本市の安心安全が損なわれることに繋がる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 幼少年を対象に防火意識を身につけさせる事業は他にない。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費の削減及び市の負担の削減はこれ以上出来ない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事務局を消防局予防課内に置き職員2名のみで事業計画から実施まで行っており、人件費削減できない。 火災予防という専門的知識等が必要なため職員以外の者では対応できない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	幼少年期から正しい防火意識を身につけさせることは、極めて重要であり、防火意識を持った住民が増え、本市が安心安全の恩恵を受けることにつながるため公平公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	霧島市における幼児、児童の防火意識を高めるとともに、保育士及び教諭の防火意識の向上のための研修に向けて、これまでの事業を継続する。 防火・防災に関する研修等に一人でも多く参加してもらえるような研修を実施する。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	クラブ員及び指導者に対して、防火・防災に関する研修会の案内及び研修会の実施を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

